

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		南部地域療育センターそよ風					公表日	2026年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点		
営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		絵カードを作成し、活用した。絵カードや個別であそぶ教材を準備した。	お子さんによって使用した場合は、保護者にもどのような教材を準備したか等具体的に報告するように努めます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	十分ではない 兼務職員もいてケース数を増やすことができた。	保育所等訪問支援の希望があったときに速やかに対応できるように、訪問支援員の育成を進めます。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		訪問した時の様子などを報告し、相談することもある。携わる職員は多くないが、話をする機会は増えた。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議を実施し、内容の把握に努めている。	保護者からの評価表を受けて、今後の課題整理にもつなげている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		その都度、報告、相談するようにしている。必要に応じてケース会議などでできるという。	支援は個々で動くため、ケースの共有や支援内容を深めるための会議を定期的につくれるように努めます。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	実施していない。	今後実施できるように努めます。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		もっと回数があればいい。スキルアップ、情報共有の機会になる。	研修は年1回受けている。法人内の担当者会議を年1回実施しているため、ケース検討なども定例化し、支援員の力量アップにつなげられるように努めたい。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			会議の参加者メンバーとしては入れていないが、支援計画作成までに他職種職員からの意見を聞き、支援計画に反映させているので、引き続き継続したい。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			園側から、支援計画の作成にあたり、一緒に検討できる場が欲しいという意見もあったため、今後の検討課題にしたい。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		アセスメントシートの内容の整理を行い、より支援の方向性が整理できるように努めます。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			保護者への説明が不十分なところがあるので、わかりやすい説明に努めます。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	2	1	事前に電話で聞き取りを行うこともある。 時間がある時に共有した。	支援に行く職員が複数の場合は、リハスタッフなど専門職の職員が同行しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	時間があるときに共有した	複数職員で支援を行った場合は実施しています。今後の方向性で検討したいケースは、関係職員と相談しながら進めています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		ホームページで確認している。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		記録を取り、振り返りや必要なケースについては、リハ、発達相談スタッフから助言をもらえるよう連携している。				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		実施している。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		全ケースではないが、実施し、情報共有を行った。	引き続き、必要なケースは実施し、よりよいサービス提供できるように努めます。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3					
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3	実施していない。	今後対応するケースによって行えるように努めていきます。		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3					
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3	実施していない。			
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3					
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	実施していない。	必要時は、情報提供できる研修があれば、ご案内できるように努めます。		
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約の際説明をしている。				

保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		アセスメント日程の調節の前に事前に説明した。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		実施している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		訪問後、報告し、その時の家族の悩みや心配を把握し、答えるようにしてきた。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3			現在、父母会やきょうだいの会の計画はしていません。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		柔軟に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		実施していない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			該当児童については引き続き、十分留意できるように努めます。
訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		園によって、柔軟に対応している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		報告書の作成や電話、対面での報告を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			訪問から知りえる情報の取り扱いについて十分に留意します。
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			訪問園のマニュアルに従います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			通園部門の安全計画に基づいて対応しているため、引き続き努めていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			毎年研修は必ず受けています。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			早急に児童発達支援計画に記載するようにします。	